

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福井県理容美容専門学校
設置者名	学校法人福井県理美容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	理容科	夜・通信	2,010 時間	160 時間	
	美容科	夜・通信	2,010 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.fukuiribi.jp/Disclosure/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－① 【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	福井県理容美容専門学校
設置者名	学校法人福井県理美容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.fukuiribi.jp/Disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	県議会議員	2024. 6. 1 ～ 2027. 5. 31	経営計画の策定
非常勤	高等学校 非常勤講師	2025. 5. 26 ～ 2027. 5. 31	経営計画の策定
(備考) 私立学校法改正に伴う令和 7 年 5 月 26 日役員改選により理事変更			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福井県理容美容専門学校
設置者名	学校法人福井県理美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
授業計画をそれぞれ担任の教員が作成	
・ 作成時期 前年度 3 月	
・ 公表時期 新年度 4 月	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学期末ごとの学科試験、実技試験などの成績評価を点数化（100 点満点）し、状況を把握している。 $\text{各学生の履修科目の平均成績} = \frac{\text{学科試験および実技試験の個人の総合点}}{\text{当該学年の履修科目数(不可の科目も含む)}}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.fukuiribi.jp/Disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学則 (卒業の認定と証書および称号の授与) 第 17 条 校長は第 8 条(※)に定める授業科目の成績評価に基づき、卒業認定委員会（卒業判定会議）を主宰し、卒業証書を授与し、専門士（衛生専門課程）の称号を授与する。 学則の細則 (進級又は卒業の認定) 第 20 条 進級又は卒業は、各認定会によって審議され、次の各号の一つに該当する場合留年とする。 1 該当年度における履修科目のうち、成績評価に不合格科目がある者 2 当該年度における各授業科目の出席時間が 80%に満たない者 3 但し、各授業科目の出席時間が 80%に満たない者であっても、補講により欠席を補うことができる。 (卒業延期) 第 22 条 卒業の認定を行う場合、留年以外に卒業延期の措置をとることもある。 (※) 第 8 条 出席時間数は 8 割以上の出席をもって履修したものとみなす。 2. 成績評価は、各授業科目において行う試験、実習の成果、履修状況および出席時間数等を勘案して行う。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.fukuiribi.jp/Disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福井県理容美容専門学校
設置者名	学校法人福井県理美容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所にて閲覧
収支計算書又は損益計算書	事務所にて閲覧
財産目録	事務所にて閲覧
事業報告書	事務所にて閲覧
監事による監査報告（書）	事務所にて閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
衛生		専門課程	理容科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,010 単位時間／単位	510 時間 単位時間 ／単位	0 時間 単位時間 ／単位	900 時間 単位時間 ／単位	0 時間 単位時間 ／単位	600 時間 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
10 人		8 人	0 人	2 人	13 人		15 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業時間数の1単位時間は50分とし、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。 卒業までの履修時間数を2年間で2,010時間とする。 授業計画をそれぞれの担任の教員が作成。 ・作成時期 前年度 3月 ・公表時期 新年度 4月
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は各授業科目において行う試験、実習の成果、履修状況および出席時間数を勘案して行う。 成績評価の基準 100点 ～ 50点 合格 49点 ～ 0点 不合格 合格の評価 80点 ～ 100点 「A」 60点 ～ 79点 「B」 50点 ～ 59点 「C+」 学期末ごとの学科試験、実技試験などの成績評価を点数化（100点満点）し、状況を把握している。

卒業・進級の認定基準	
(概要) 学則 (卒業の認定と証書および称号の授与) 第 17 条 校長は第 8 条に定める授業科目の成績評価に基づき、卒業認定委員会(卒業判定会議)を主宰し、卒業証書を授与し、専門士(衛生専門課程)の称号を授与する。 学則の細則 (進級又は卒業の認定) 第 20 条 進級又は卒業は、各認定会によって審議され、次の各号の一つに該当する場合留年とする。 1 該当年度における履修科目のうち、成績評価に不合格科目がある者 2 当該年度における各授業科目の出席時間が 80%に満たない者 3 但し、各授業科目の出席時間が 80%に満たない者であっても、補講により欠席を補うことができる。 (卒業延期) 第 22 条 卒業の認定を行う場合、留年以外に卒業延期の措置をとることもある。	
学修支援等	
(概要) 担任を設け、きめ細やかなサポートを行う。 総合型選抜(旧 A0 入試)合格者に対し、特別授業を行っている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 理容業界			
(就職指導内容) 就職ガイダンスを行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 専門士、理容師資格試験受験資格、パーソナルカラー受験資格、 ネイリスト・ネイルサロン衛生管理士受験資格、 JNA ジェルネイル技能検定試験受験資格、フェイシャルエステサロン受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的な理由、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が面談をしている		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	美容科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,010 単位時間／単位	510 時間 単位時間 ／単位	0 時間 単位時間 ／単位	900 時間 単位時間 ／単位	0 時間 単位時間 ／単位	600 時間 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		73 人	0 人	3 人	12 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）授業時間数の 1 単位時間は 50 分とし、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。 卒業までの履修時間数を 2 年間で 2,010 時間とする。 授業計画をそれぞれの担任の教員が作成。 ・作成時期 前年度 3 月 ・公表時期 新年度 4 月	
成績評価の基準・方法	
（概要） 成績評価は各授業科目において行う試験、実習の成果、履修状況および出席時間数を勘案して行う。 成績評価の基準 100 点 ～ 50 点 合 格 49 点 ～ 0 点 不合格 合格の評価 80 点 ～ 100 点 「A」 60 点 ～ 79 点 「B」 50 点 ～ 59 点 「C＋」 学期末ごとの学科試験、実技試験などの成績評価を点数化（100 点満点）し、状況を把握している。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 学則 （卒業の認定と証書および称号の授与） 第 17 条 校長は第 8 条に定める授業科目の成績評価に基づき、卒業認定委員会（卒業判定会議）を主宰し、卒業証書を授与し、専門士（衛生専門課程）の称号を授与する。 学則の細則 （進級又は卒業の認定） 第 20 条 進級又は卒業は、各認定会によって審議され、次の各号の一つに該当する場合留年とする。 1 該当年度における履修科目のうち、成績評価に不合格科目がある者 2 当該年度における各授業科目の出席時間が 80％に満たない者 3 但し、各授業科目の出席時間が 80％に満たない者であっても、補講により欠席を補うことができる。 （卒業延期） 第 22 条 卒業の認定を行う場合、留年以外に卒業延期の措置をとることもある。	

学修支援等
(概要) 担任を設け、きめ細やかなサポートを行う。 総合型選抜(旧 A0 入試)合格者に対し、特別授業を行っている。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	7 人	19 %
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的な理由、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が面談をしている		

a) 「生徒納付金」等

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.fukuiribi.jp/Disclosure/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
自己評価の結果を本校の関係者より組織した学校関係者評価委員会に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用する。 ・評価委員会の構成 (1) 理美容業界関係者 1 名 (2) P T A 役員 1 名 (3) 卒業生 1 名 (4) その他校長が必要と認める者 2 名 任期は 2 年とする。 ・実施方法 年 2 回開催予定 ・主な評価項目 教育理念、目的、育成人材像・学校運営・教育活動・修学成果・学生支援 教育環境・学生受け入れ募集・財務・法令等の遵守・社会貢献、地域貢献 ・評価結果の活用方法 評価結果に基づき校長と管理職で話し合いをした上で適宜改善を行っている		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
福井県美容業生活衛生同業組合 理事長	2024. 4. 1～2026. 3. 31	関係業界
PTA 役員	2024. 4. 1～2026. 3. 31	保護者
卒業生	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生
理容業	2024. 4. 1～2026. 3. 31	関係業界
理容業	2024. 4. 1～2026. 3. 31	関係業界
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.fukuiribi.jp/Disclosure/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.fukuiribi.jp/Disclosure/
--